



長かった臨時休校が終わり、学校生活がようやく再開されます。3月からこれまで、皆さんは先が見通せず、不安な気持ちで過ごしてきたと思います。先生たちも、新学期に皆さんを迎えて、クラス開きや、準備してきた大切な行事、そして授業をいつものように行うことができず、とても残念な思いでいます。

みなさんもまた、楽しみにしていた部活動を行うことができなかつたり、大切な試合や発表会などが中止になってしまったり、悔しさでいっぱいでしょう。落ち込んだ心のやり場がなくてどうしても気力を取り戻せず、十分に課題に取り組めていない人もいるでしょう。

学校を始められるのは大変うれしいことですが、段階的な再開となるため、しばらくは、分散登校、時差登校など、通常とは違う形での学校生活が続きます。人間同士のコミュニケーションが大切な学校という場で、友達との密接なコミュニケーションを制限するような「新しい生活様式」を実践しなければなりません。とても、もどかしいです。

このような状況で、感染のこと、勉強のこと、進路のこと、部活動のこと、友達のこと、家族のことなど、いろいろ不安に思うのは当然です。様々な変化の中で、ストレスが溜まって、体や心に負担がかかることもあるでしょう。

そんな時には、一人で悩みを抱え込まずに、(担任、部活動顧問、養護教諭などの)先生や、スクールカウンセラー、家族など、周囲の大人に相談してください。「24時間子どもSOSダイヤル」「SNS相談」などの相談窓口も活用してください。

また、友だちから相談を受けて、自分一人では支えきれないと感じた場合は、信頼できる大人に相談してください。遠慮せずに声をかけてください。

たくさんの課題をもらい、しかも、Google Classroomなどの新しい学びのツールを活用してのダウンロードや提出などにとまどい、生徒の皆さんはすいぶん苦労し、大変だったことと思います。まだ課題が終わっていないで、不安に思っている人も多いでしょう。フルに活用してICT利活用の腕を上げた生徒さん達がたくさんいる一方で、通信環境の問題などで、まだ入れていない

という生徒さんもいるでしょう。どうか焦らずに、ひとつずつ粘り強く取り組んでいてください。Wi-Fi ルーターも間もなく届きます。遅れてもやる気持ちさえあれば大丈夫です。

先生方もこの2カ月間、新しい Google Classroom* という学びのツールとの格闘という挑戦の日々を過ごしてきました。プリント課題を出し、その答えをあげて答え合わせをしてもらうというごく基本的な活用方法に始まった Google Classroom も、Google Form でアンケートを取るようなやり方の小テストを行ったり、クイズを出したり、プリント画像に先生が音声を付けて解説したり、と様々な工夫と進化を重ねています。既存の NHK 高校講座等の動画を活用したりするだけでなく、先生方が自ら撮影した動画授業をオンデマンドで見られるようにしたり、中にはライブで授業を配信し、同時にチャットで即、生徒の反応を確かめたり、生徒から質問してもらったりできるという双方向型の授業への挑戦も始まっています。Google Meet を使ったショートホームルームへの挑戦も始まり、「楽しかった、またやりたい!」という皆さんの声に、先生方はとても励まされています。

校長より先生方には次の3つをお願いしました。

- ① 生徒の学びを止めない!
- ② 誰一人取り残さない!
- ③ 生徒と学校のつながりを継続させる!

なにぶん、ほとんどの生徒・教員にとって初めての挑戦であり、いろいろと不具合があって、皆さんに不自由をおかけしたり、困っているみなさんへの手当てが十分でなかったり、ご家庭にもご負担をおかけしていることもあろうかと思いますが、職員一同この100年に一度の大ピンチを学びの変革のチャンスにしよう!と頑張っています。対面の授業が6時間できるようになってもこのICTツールの活用を進めていくことが、コロナ禍のみならずこれからの時代のマストです。どうか生徒の皆さんも頑張って挑戦し続けてください。今、乗り遅れて「どうしよう!?!」となっても大丈夫です。先生方が皆さん一人ひとりの学びをサポートします。

先生方は、また、皆さんの不安な気持ちに寄り添いたい、支えになりたいと心から思っています。通常の学校生活ができるようになるまで、焦らずに、そして新クラスの仲間たちと不安を分かち合い、互いを思いやりながら、ともに歩いていきましょう。

何か心配なことがある場合には、遠慮せず担任、保健室にお電話ください。東高教職員一同、皆さんとの再会を、心から楽しみにしてお待ちしています。

* **Google Classroom**: Google と米国内の教育者が協力して構築した Classroom は、教師による課題の管理をサポートするシンプルで使いやすいツール。Classroom を利用すると、教師はクラスを作成して、課題・読み物・動画等を投稿して、家庭での学習課題を提供できる。Form を使って、出題や採点も行えるし、また、フィードバックの提供なども行える。



↑ Google Meet で朝のHR に挑戦する3C 木目田教諭と見学する先生たち (0519)



↑ Google Classroom のトップの科目ごとのクラスルームタイトル



↑ スマホで、タブレットで、パソコンで、生徒の主体的な学習習慣の形成に活躍しそうです